

要 望 書

四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業の
計画的な事業推進・予算確保について



令和6年7月

四日市港の海岸整備を進める会

平素は、四日市港の整備推進に関し、特段のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

また、「四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業」の令和6年度新規事業化について、多大なるご尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

四日市港海岸の背後には、三重県内最大の人口を有する四日市市を控え、石原地区・塩浜地区の防護区域には行政施設や消防署等の地域中枢機能が所在しています。また、国道1号、国道23号、JR関西本線、近鉄名古屋線など、愛知県と関西方面をつなぐ重要交通網が当該地区を横断しているとともに、伊勢湾内の原油処理能力の約5割を占める石油コンビナートや半導体関連企業が多数立地するとともに、その直背後には住宅地が密集しています。

しかし、四日市港海岸の海岸保全施設は、未曾有の被害をもたらした伊勢湾台風後の昭和30年代後半に整備され、整備後約60年が経過し耐震性が不足しています。南海トラフ地震等の地震発生時には海岸保全施設が液状化による沈下等により防護機能が損なわれ、地震に伴う津波により、甚大な浸水被害が懸念されていることから、早期の対策が必要です。

特に、石原・塩浜地区の海岸保全施設周辺には、危険物を扱うパイプラインが近接・横断する形で敷設されており、用地上の制約、液状化・非液状化の互層など埋立地特有の地盤性状により、改良に高度な技術力を要し、事業規模も著しく大きくなります。

つきましては、四日市港背後圏の住民の安全・安心を確保するとともに、四日市港背後圏産業の競争力保持及び持続的な発展のため、港湾及び海岸の整備予算の規模拡大を図るとともに、下記の事項について、特段のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。

記

○四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業について、計画的に事業を推進し、必要な予算を確保すること。

四日市港の海岸整備を進める会 会長 小川



背後地の状況



伊勢湾内の石油製油所立地状況と原油処理能力



三重県内の市町別人口(上位5市町)

	市町名	人口(人)
1	四日市市	309,719
2	津市	272,654
3	鈴鹿市	196,461
4	松阪市	159,000
5	桑名市	139,563

出典：令和5年住民基本台帳(総務省)

伊勢湾台風(S34)による被災状況



倒壊した倉庫

決壊した堤防

海岸保全施設に近接するパイプライン



四日市港背後圏の住民の安全・安心を確保するとともに、四日市港背後産業の競争力保持及び持続的な発展のため、**計画的な事業推進・予算確保が必要不可欠！**

四日市港海岸直轄海岸保全施設整備事業

事業内容

令和6年度新規事業化

- 事業期間：令和6年度～令和17年
- 総事業費：250億円
- 整備施設：

施設名	数量
護岸(改良)	3,862m
胸壁(改良)	884m
樋門(改良)	5基
陸閘(改良)	11基



四日市港の海岸整備を進める会について

四日市港の海岸整備に求める関係者等の期待や要望を整備に反映させるため、四日市商工会議所が呼びかけ人となり、官民一体の「四日市港の海岸整備を進める会」を令和5年7月に設立しました。

会 員 名 簿

役 職	企 業 ・ 団 体 名	職 名	氏 名
名誉会長	三重県	知事	一見 勝之
	四日市市	市長	森 智広
会 長	四日市商工会議所	会頭	小川 謙
副会長	昭和四日市石油株式会社 四日市製油所	取締役執行役員 製油所長	槇 啓
	塩浜地区連合自治会	会長	石田 清延
	石原産業株式会社 四日市工場	執行役員 四日市工場長	浅野 俊介
	コスモ石油株式会社 四日市製油所	取締役執行役員 四日市製油所長	中島 元
	三菱ケミカル株式会社 東海事業所	事業所長	梅澤 幸樹
	高純度シリコン株式会社	取締役 製造・技術本部長	井垣 和人
	四日市市 政策推進部	部長	荒木 秀訓
	四日市港管理組合	副管理者	高間 伸夫